

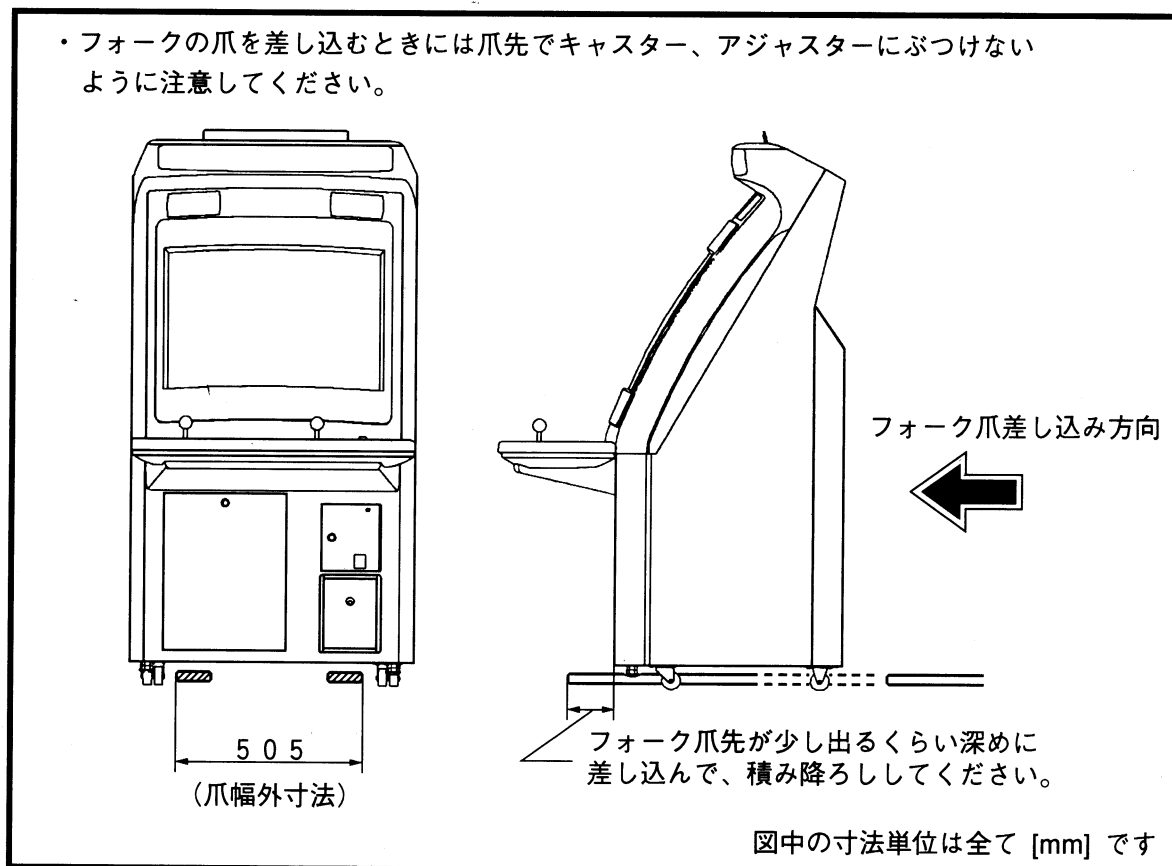
第2章 運搬／移動

2-1. 運搬（車載移動）

○ 「イーグレット2」の総重量は、約110 kgです。

① 積み降ろし

本機は、フォークリフトで積み降ろしができます。
フォークリフトの爪幅（外寸法）は、505 [mm] 下図を参照してください。



フォーク差し込み位置

② 車両に積載して移動

・アジャスターについて

本機には、キャスターが付いていますので、キャスターで立たせているだけでは運送中に荷台の振動や傾きで、動く可能性があります。

車両に積載するときには、次ページ図1のように全てのアジャスター（2ヶ所）を効かせてください。また、電源コードが外に出ている場合（設置後の移動など）は、電源コードをバックドア内部に収納してから運搬してください。（次ページ図2参照）

第2章 運搬／移動

⚠ 注意

車両に積載して輸送する際には、必ずアジャスターを下げてください。

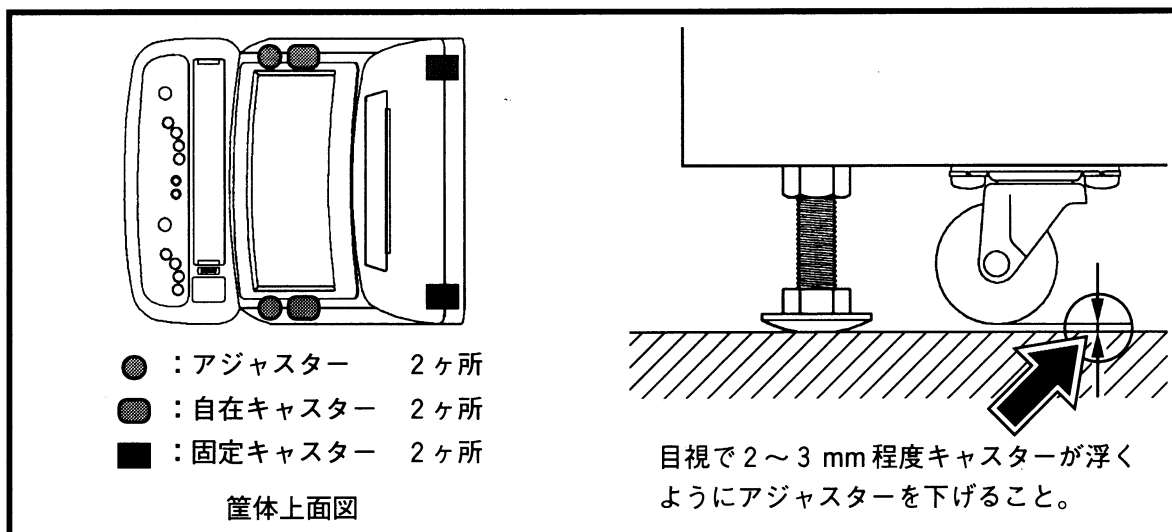


図1：輸送時におけるアジャスターの状態

⚠ 注意

運搬、移動の際には、電源コードをバックドア内に収納してください。

- ・付属品のアレンレンチT-20でトルクスビスを外し、バックドアを取り外します。
- ・キャビネット内部に電源コードを収納して、バックドアをもとのように取り付けてください。

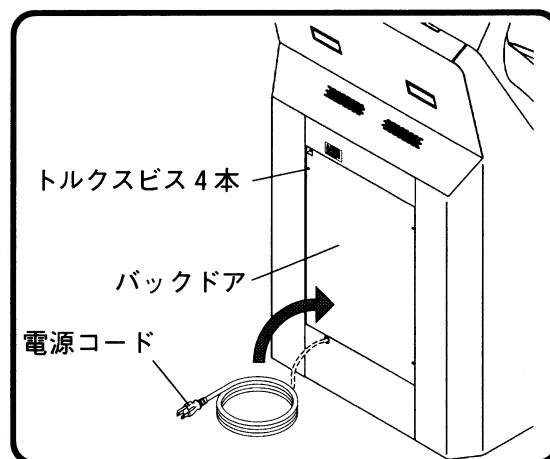


図2：電源コードの収納

第2章 運搬／移動

・ロープ掛けについて

- ・車両上でロープを掛けるときには、下図3に指示する箇所で当て物を使用してしっかりと固定してください。
- ・また、上部のイルミネーション付近は、当て物してもロープ掛け禁止です（下図3参照）。
- ・荷台の壁と接触する場合には、キズ付き防止のためにその間に毛布や、クッション等の当て物をしてください。

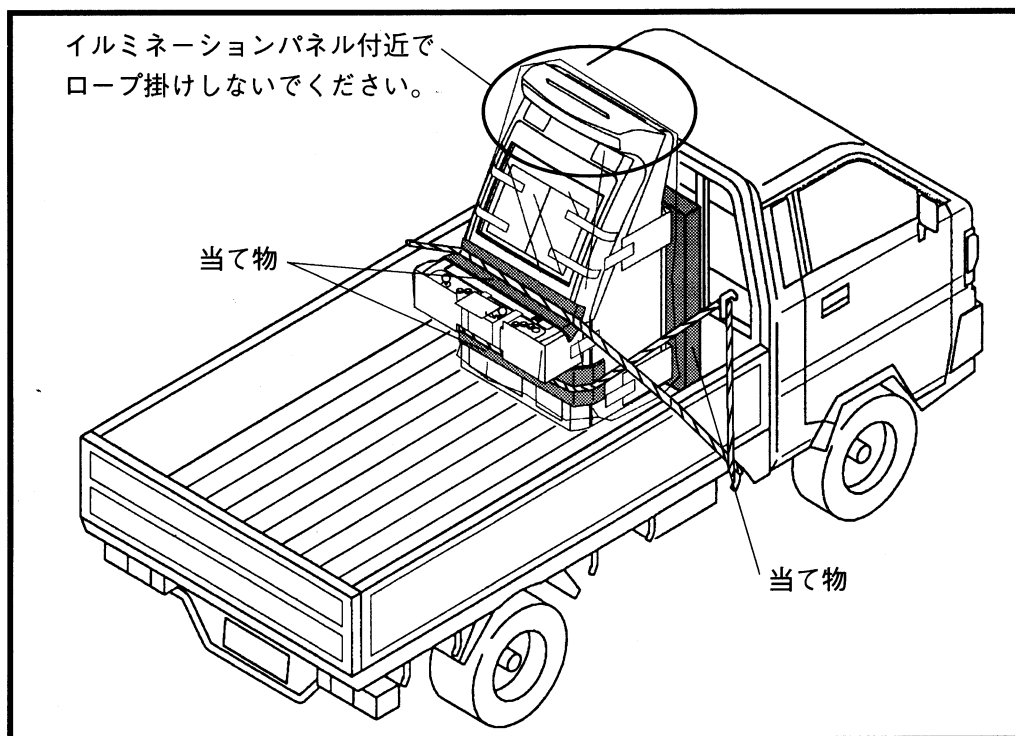


図3：ロープ掛けの一例

⚠ 注意

筐体にロープ掛けする箇所には、破損や傷つき防止のため必ず当て物をしてください。またイルミネーション付近は当て物をしてでもロープ掛け禁止箇所です。

留意

筐体を荷台の壁と接触させる際には、キズ付きを防止するためにその間には毛布、クッション等の当て物をしてください。

2-2. 移動

- 本機には、床面を容易に移動するためにキャスター（全4ヶ所）が取り付けられています。移動時において以下の点に気を付けてください。

- ・移動させる際に電源コードが外に出ている場合は、運送時と同様、バックドア内部に収納してから行ってください。（収納方法は19ページ図2参照）

- ・移動するときは、全てのアジャスターを下図4のように最大限上げてください。（アジャスターは本体正面下側にあります。）

また、移動においては側面からは押さないで、正面または背面からゆっくりと押してください。（注）

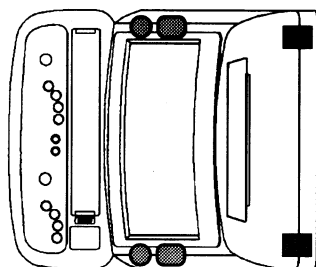
注： 本機「イーグレット2」では、筐体後部側のキャスターは固定キャスター（回転しないタイプ）を用いているため、側面から横方向への移動はできません。したがって側面から無理に移動を行うと、後部のキャスターに負担が掛かるだけでなく、床面の段差や障害物などにつまずいたときに転倒する可能性があるため、側面からは押し進めないでください。

⚠ 注意

運搬、移動の際には、電源コードをバックドア内に収納してください。

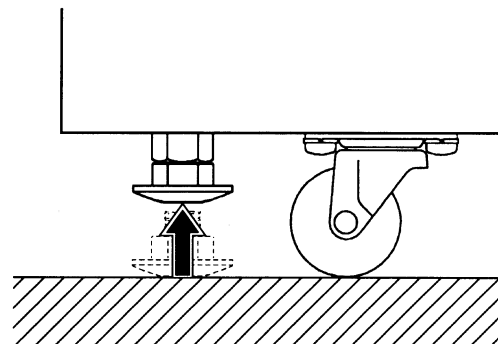
⚠ 注意

床面を押して移動する際には、全てのアジャスターを限界まで上げてください。



- : アジャスター 2ヶ所
- : 自在キャスター 2ヶ所
- : 固定キャスター 2ヶ所

筐体上面図



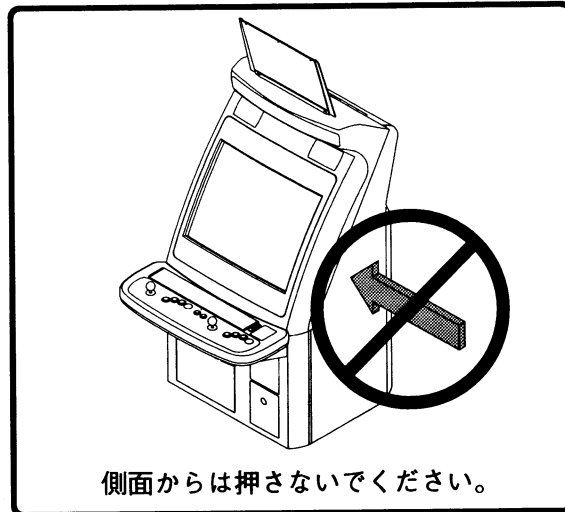
アジャスターを限界まで上げる

図4：移動時のアジャスター

第2章 運搬／移動

留意

本機を押して移動する際には、側面からは押さないでください。つまずいた場合に、転倒する可能性があります。必ず正面または、背面からゆっくりと押してください。また、ジョイスティックを握っての移動は不安定なので、行わないでください。



側面からは押さないでください。

図5：床面移動時の禁止方向

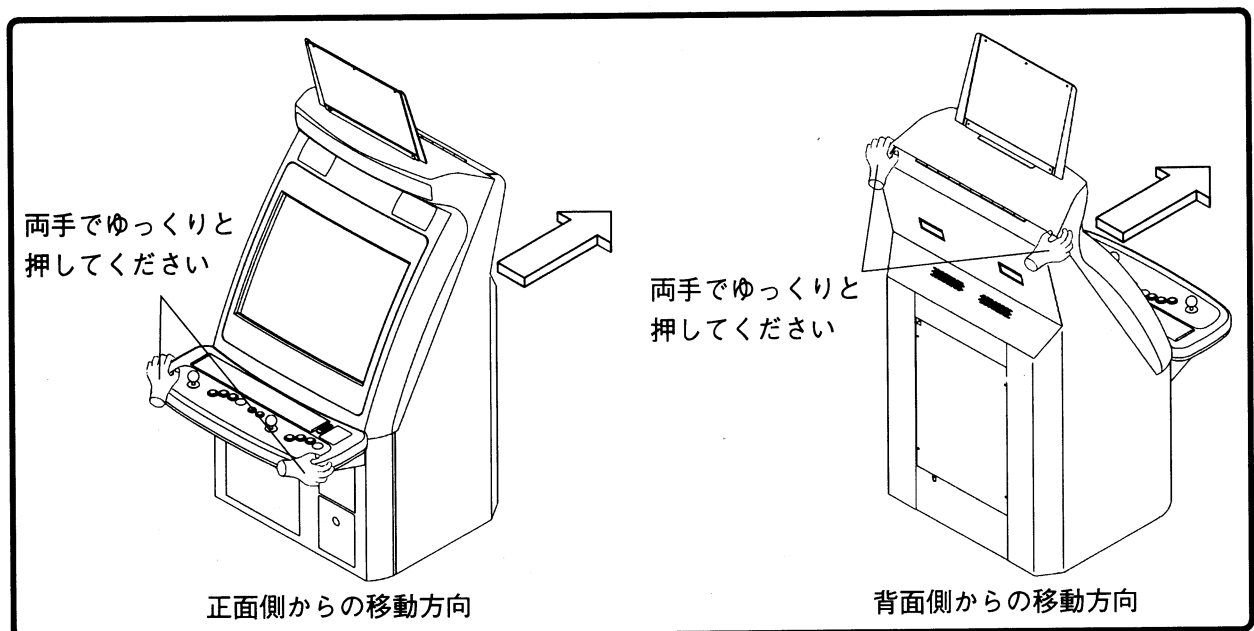


図6：イーグレット2の移動方向

第3章 設置

3-1. 設置場所の選定と固定

- 「イーグレット2」は、屋内設置仕様のゲームマシンです。屋外には設置しないでください。

火災予防

- 本機は、樹脂等の可燃性材料を多く使用して構成されています。本機自身は火や熱を検知する装置を持っていませんのでタバコ等の火を、筐体に接触させることのないように、火災予防には十分の考慮をして設置してください。
- 防災上危険な場所や、消防設備などが設置されている正面などには、絶対に設置しないでください。

⚠ 注意

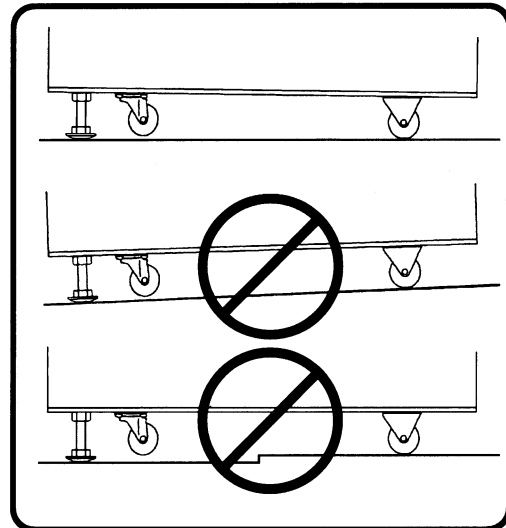
防災上危険な場所や、消防設備の正面などには絶対に設置しないでください。

設置における環境条件

- 「イーグレット2」には電子回路が組み込まれています。電子回路の故障防止のためにも、設置場所の環境については以下の条件を守ってください。
 - ・ 温度： 0℃～40℃以内
 - ・ 湿度： 25%～70%以内（結露しないこと）
 - ・ 直射日光および、水滴、雨滴はどの部分にも当たらないこと。
 - ・ ほこりの多いところは避けてください。
 - ・ 振動の激しい場所は避けてください。

床面について

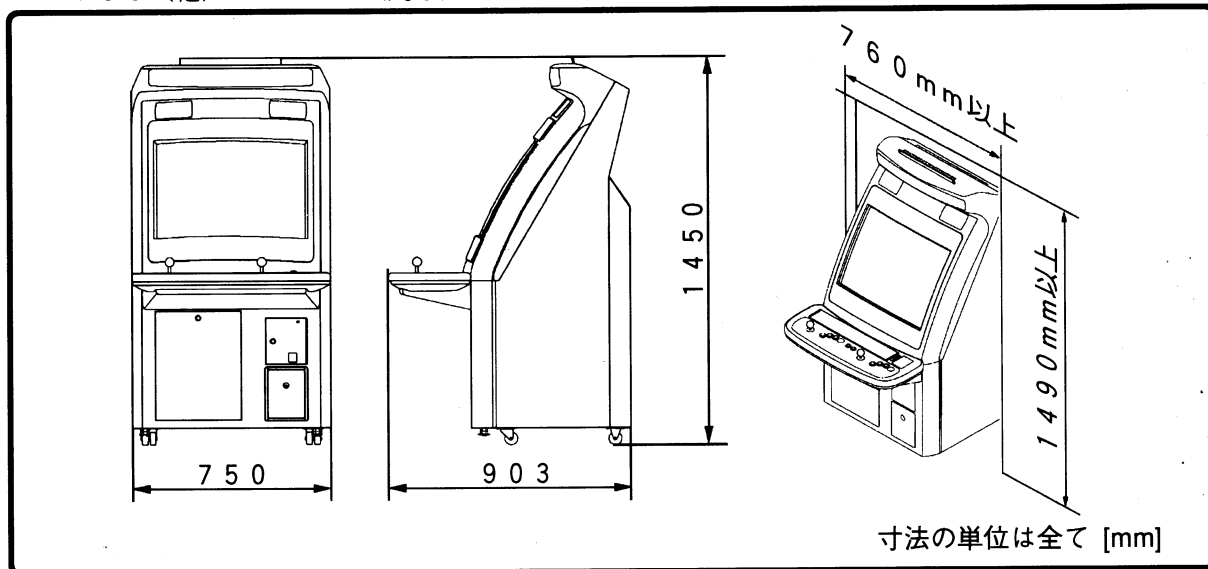
- 本機は、水平で平らな床に据え付けてください。床面の凹凸や傾きを、スペーサー等を用いたり、アジャスターで無理に調整しないでください。



第3章 設置

搬入間口の寸法について

- 「イーグレット2」本体の寸法は、下図に示すとおりです。したがって設置場所の間口はおおむね、760（幅）×1490（高さ）mm以上開いている必要があります。



イーグレット2の搬入間口寸法

設置位置への移動

- 本機には、床面を容易に移動するためにキャスター（全4ヶ所）が取り付けられています。移動時において以下の点に気を付けてください。
 - ・移動させる際に電源コードが外に出ている場合は、運送時と同様、バックドア内部に収納してから行ってください（出荷時は内部に収納されています）。

⚠ 注意

運搬、移動の際には、電源コードをバックドア内に収納してください。

- ・付属品のアレンレンチT-20でトルクスビスを外し、バックドアを取り外します。
キャビネット内部に電源コードを収納して、バックドアをもとのように取り付けてください。

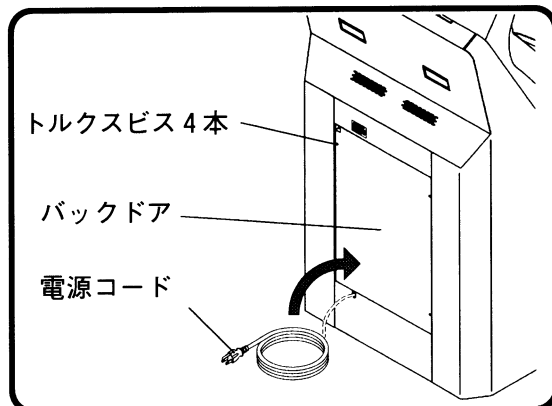


図1：電源コードの収納

第3章 設置

移動するときは、全てのアジャスターを下図2のように最大限上げてください。
また、移動においては側面からは押さないでください。(下図3参照)
正面または背面からゆっくりと押してください。(次ページ図4参照)

⚠ 注意

床面を押して移動する際には、全てのアジャスターを限界まで上げてください。

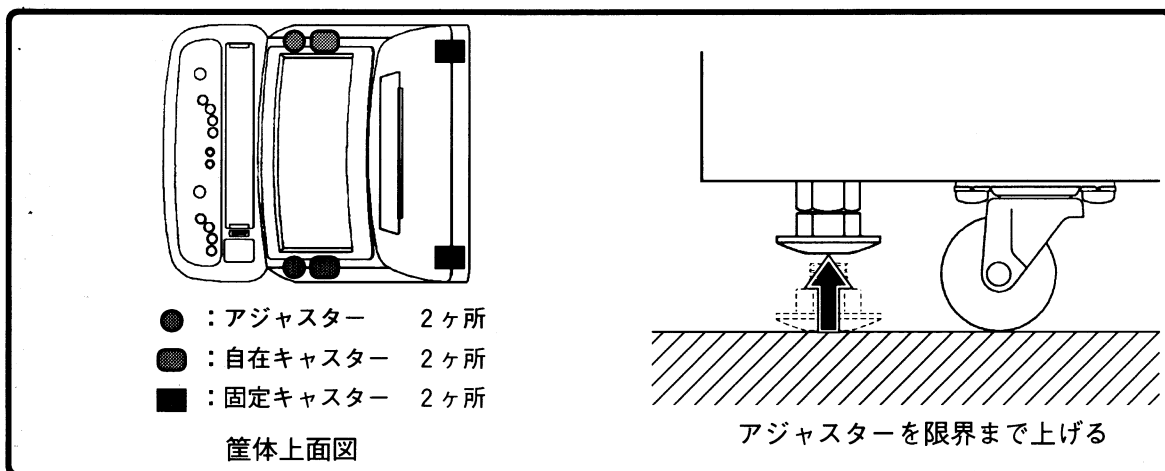


図2 : 移動時のアジャスター

留意

本機を押して移動する際には、側面からは押さないでください。
つまずいた場合に、転倒する可能性があります。必ず正面または、
背面からゆっくりと押してください。また、ジョイスティックを
握っての移動は不安定なので、行わないでください。



図3 : 床面移動時の禁止方向

第3章 設置

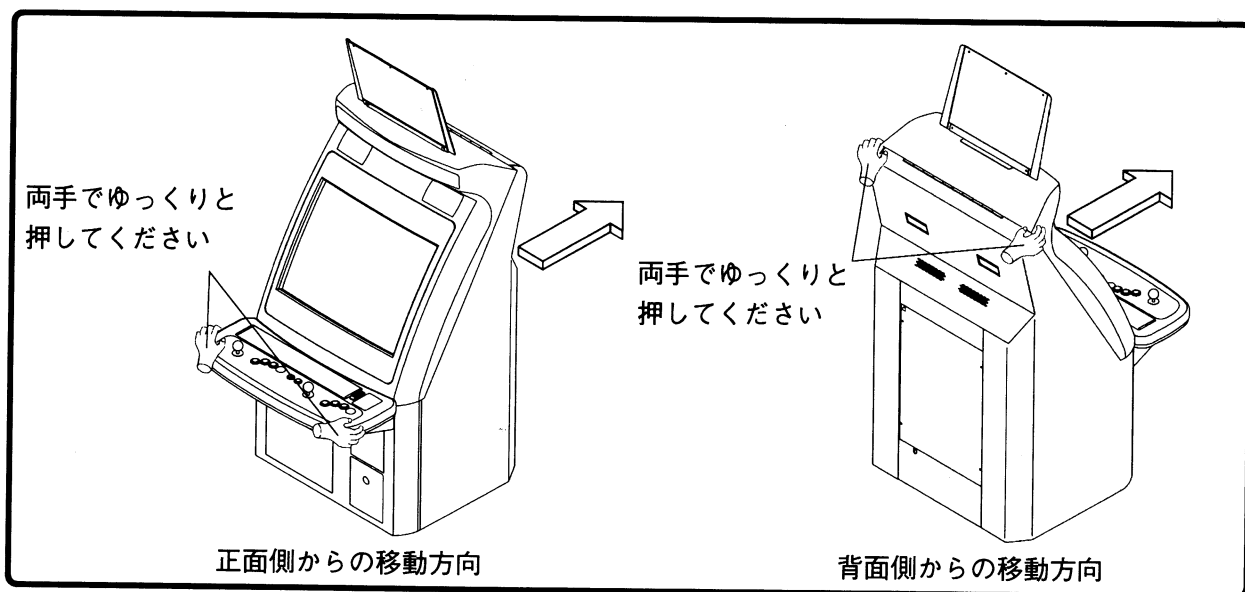
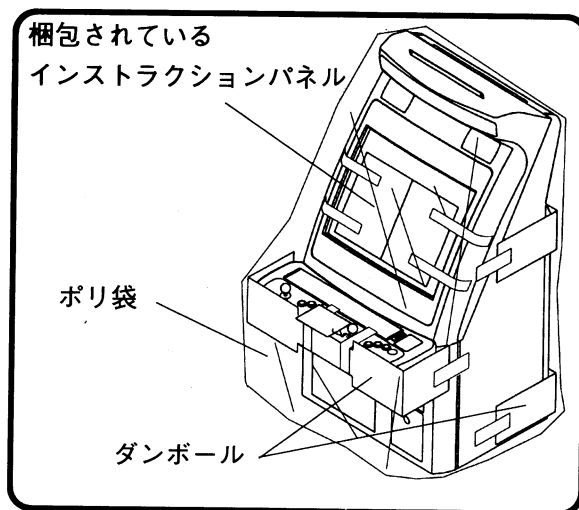


図4：イーグレット2の移動方向

梱包材、 SHIPPING を取り外します

- 工場出荷時の筐体には、梱包材およびSHIPPINGが付けてあるので取り外してください。

モニター面には、インストラクションパネルが梱包されて貼り付いています。ご注意ください。取り外した梱包材（ポリ袋、ダンボール、発泡スチロール等）はその地域に応じた方法で廃棄してください。



コインメーターのSHIPPING（ガムテープ）を取ります

- 「イーグレット2」のコインメーターは、レジェクタードア側からも確認できるように、上方向に傾けられる設計になっています。そのため、出荷時にはコインメーターががたつかないようにテープで押さえられていますので、設置の際にははがしてください。（次ページ図1参照）

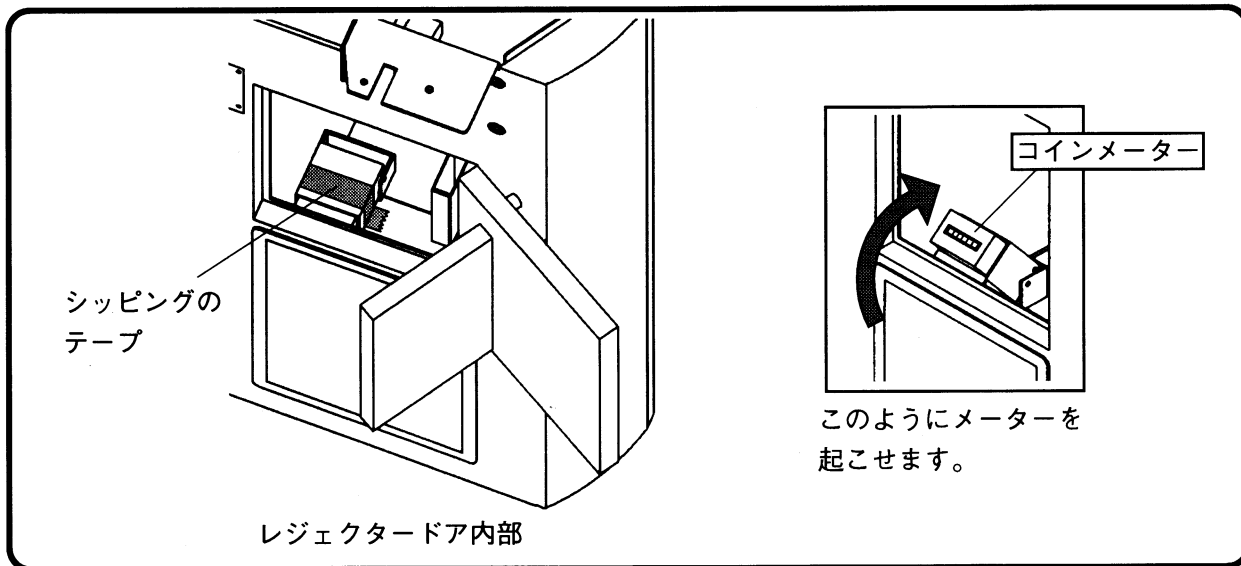


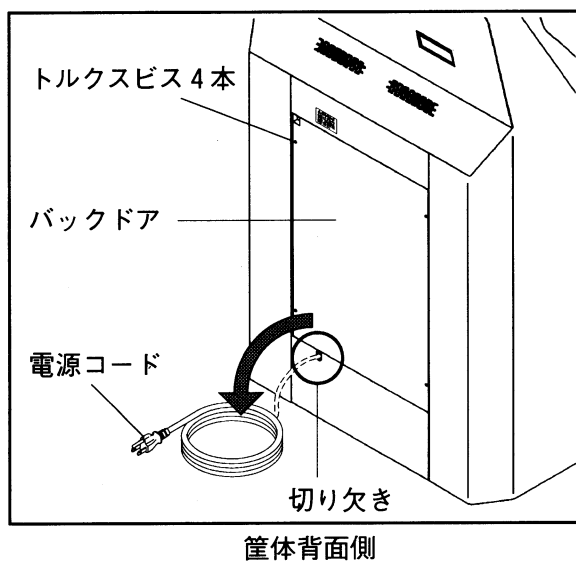
図1： SHIPPING位置

バックドア内部から電源コードを取り出す

- 下図を参照してバックドアを取り外し、電源コードを外に出してください。

・背面から見て、バックドア内部の左側に電源コードが収納されています。

- 1) 付属品のアレンレンチT-20でトルクスビスを外し、バックドアを取り外します。外したバックドアは、壁に立てかけるなどの、不安定な置き方はしないでください。
- 2) 電源コードを引き出し、右図のように切り欠きから出るようにして、バックドアをもとのように閉めてください。



設置における床面の広さ

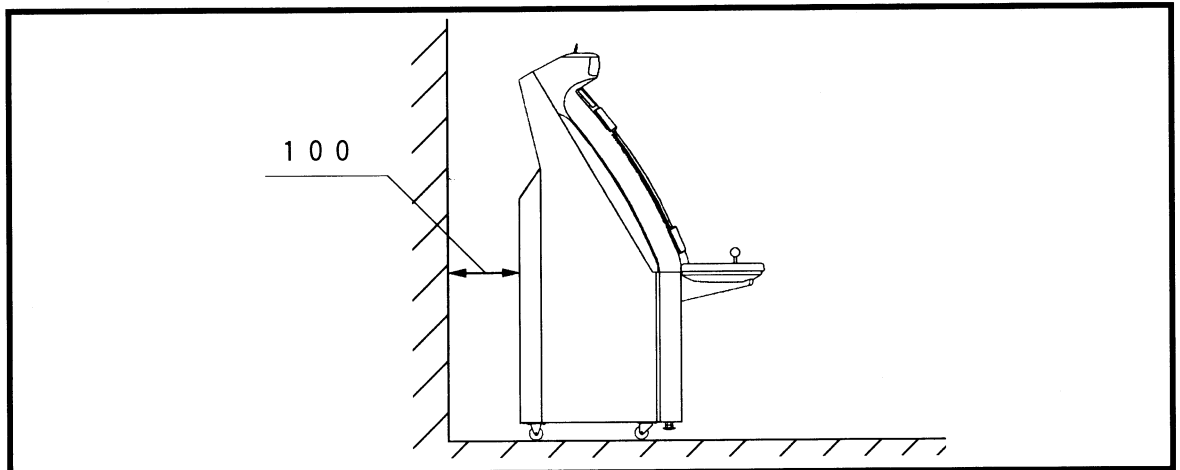
- 設置する際には、以下の条件（見取図は次ページ参照）を満たす寸法を必ず設けてください。

筐体背面と壁（または他の筐体等）との100mmのスペースは、日常点検を行うために必要ですので必ず設けてください。

第3章 設置

⚠ 注意

決められた設置スペースを、必ず守ってください。設置スペースを守らずに設置しますと、事故の原因となります。



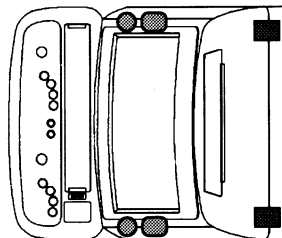
設置スペース寸法 (図中の寸法の単位は [mm])

アジャスターを下げて固定する

- 本機は正面側に2ヶ所アジャスターを設けてあります。
設置場所が決定したら、全てのアジャスターをキャスターが2～3 mm浮く程度に下げて、本機の固定を行ってください。

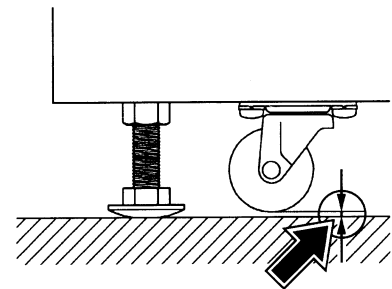
⚠ 注意

アジャスターによる固定は必ず行ってください。
アジャスターは全て (本機は2ヶ所) 使用してください。



- : アジャスター 2ヶ所
- (陰) : 自在キャスター 2ヶ所
- : 固定キャスター 2ヶ所

筐体上面図



目視で2～3 mm程度キャスターが浮くようにアジャスターを下げること。

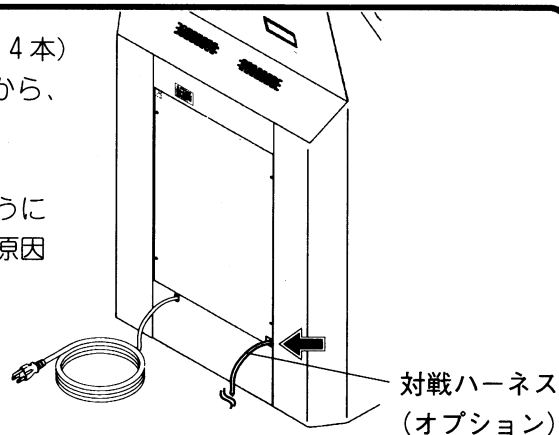
設置時におけるアジャスターの状態

3-2. 対戦ハーネス (オプション) について

- 本機はオプションの対戦ハーネスを使用することで、1つのゲーム基板に対して2つの筐体を通信しそれぞれを1プレイヤー、2プレイヤー専用と振り分けられます。

対戦ハーネス使用時には、以下の注意点を守って設置してください。

- ・バックドアを取り外してください。(トルクスビス4本)
バックドアを上下反転させて、右図のように右隅から、対戦ハーネスが出るようにしてください。
- ・接続した対戦ハーネスは通路上にはみ出さないようにしてください。プレイヤーや周囲の人がつまづく原因となります。



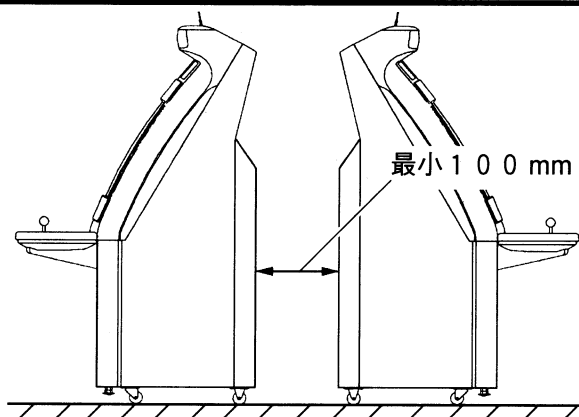
⚠ 注意

対戦ハーネスを通路上にはみ出させないでください。
プレイヤーや周囲の人がつまづく原因となります。

- ・通信させる2台の筐体を背中合わせに設置する場合、下図の設置寸法(2台の筐体間最小100mm)を必ず守ってください。

⚠ 注意

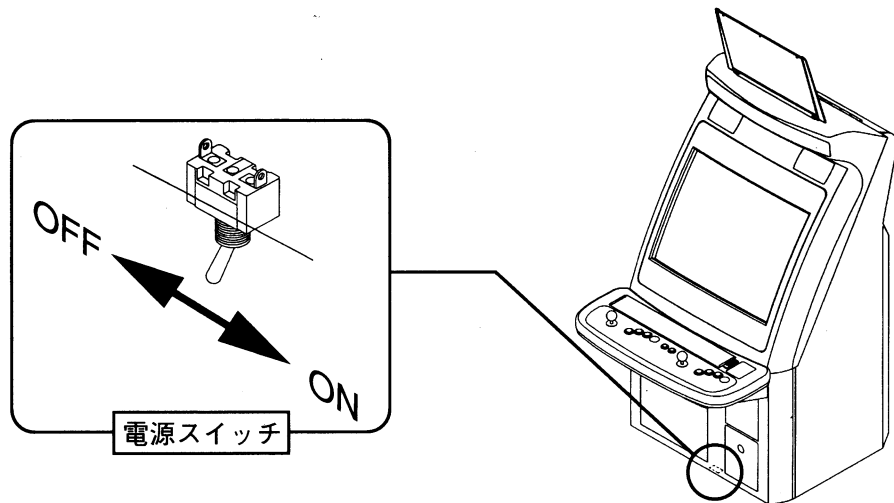
決められた設置スペースを、必ず守ってください。設置スペースを守らずに設置しますと、事故の原因となります。



第3章 設置

3-3. 電源接続

- 電源はAC100V、50/60Hzです。(最大電流値2.2A、消費電力125W)
また、接続する電源には3芯のコンセントが必要です。3芯のコンセントが無い場合は、付属品のコンセントアダプターにより2芯のコンセントに接続できますが、コンセントアダプターから出ているアース線の接地を行ってください。
- 1) 本体正面から見て、右寄りの下側に電源スイッチがあります。
プラグを接続する前にOFFになっているかを確認してください。



- 2) 配線位置を決めて、電源コードを通行人や筐体周辺の人々が足に引っ掛けたりしないように、適切な処理をしてください。

⚠ 注意

電源コードを通路にはみ出させないでください。
プレイヤーや周囲の人がつまづく原因となります。

- 3) 電源コードの3芯プラグを電源のコンセントに差し込みます。電源のコンセントが2芯のときには付属品のコンセントアダプターを使用してください。
この場合、コンセントアダプターから出ているアース線を、接地してください。

